

◆ 第 9 期計画の事業目標の達成状況について

1 趣旨

介護保険事業計画では、介護予防・重度化防止及び介護給付費適正化に関し、取組と目標を計画に記載するとともに、施策の実施状況及び目標の達成状況について、分析・評価を行い、公表するよう努めることとされています。

第 9 期の計画におきましては、事業目標 8 項目、成果目標 2 項目の計 10 項目を定めております。事業目標 8 項目について、毎年度実績を確認し、評価を行います。

2 第 9 期計画の事業目標

項 目		R5年度 実績	目標値		
			R6年度	R7年度	R8年度
介護予防	運動教室の参加者数(65歳以上)	329人	410人	480人	550人
	高齢者の通いの場の実施箇所数	85箇所	90箇所	93箇所	96箇所
	高齢者の通いの場の参加率	5.4%	5.0%	5.1%	5.2%
	生活支援サポーター登録人数	82人	85人	90人	95人
	生活支援サポーター活動回数	537回	600回	650回	700回
包括的な 支援体制	認知症初期集中支援チーム員会議での検討数	21件	24件	24件	24件
	認知症の人の地域ケア会議等での検討数	14件	20件	20件	20件
介護人材の 確保及び資 質向上	介護分野資格取得支援事業利用者数	6件	5件	5件	5件

3 目標の達成状況（令和 6 年度評価）

項 目		目標値	実績	評価
介護予防	運動教室の参加者数(65歳以上)	410人	364人	未達成
	高齢者の通いの場の実施箇所数	90箇所	84箇所	未達成
	高齢者の通いの場の参加率	5.0%	5.6%	達成
	生活支援サポーター登録人数	85人	78人	未達成
	生活支援サポーター活動回数	600回	737回	達成
包括的な支 援体制	認知症初期集中支援チーム員会議での検討数	24件	9件	未達成
	認知症の人の地域ケア会議等での検討数	20件	26件	達成
介護人材の 確保及び資 質向上	介護分野資格取得支援事業利用者数	5件	4件	未達成

4 今後の方向性（未達成の項目に対する改善・見直しの取組）

(1) 運動教室の参加者数について

運動教室に継続して参加することで、体力年齢の若返り、高血圧や肥満の改善等の効果が現われ、健康習慣の定着を図るきっかけとなっています。健康無関心層も含めたより多くの高齢者の参加につながるよう、運動の効果を多くの人に広めるとともに、親しみやすく参加しやすい事業の展開に努めます。

(2) 高齢者の通いの場の実施箇所数について

令和5年度に千葉大学予防医学センターと連携して実施しました評価分析では、「通いの場」の参加による介護予防効果等が明らかになりました。この結果の周知啓発を図るとともに、誰でも気軽に参加できる通いの場の増加を目指し、未設置の自治会への働きかけに取り組めます。

(3) 生活支援サポーター登録人数

平成27年度以降、年1回実施する生活支援サポーター養成講座受講者にサポーター登録を募り、累計登録人数は令和5年度末時点82人、令和6年度新規登録者6人を加えると88人になる予定でしたが、登録削除を申し出られた方が10人あり、累計登録人数は78人となり目標値に達しませんでした。登録削除を申し出られる理由のほとんどが、高齢になり活動できないというものでした。

今年度につきましては、従来の生活支援サポーター養成講座の他に、西脇シニアカレッジと連携した講座を開催し、サポーター登録人数の増加を目指します。

(4) 認知症初期集中支援チーム員会議での検討数

認知症に関する相談は増えていますが、地域包括支援センターの通常の相談対応で支援した事例が多かったため、チーム員会議での検討数が目標値に達しませんでした。引き続き、関係機関と連携し、適切な時期に必要な支援につながるよう努めます。

(5) 介護分野資格取得支援事業利用者数

高齢者の介護等に従事する人材の確保及び既に就労している介護職員の資質の向上を図るため、介護分野の資格取得に係る研修を修了した者に対して受講料の一部を助成しています。令和6年度の実績としては、介護職員初任者研修が3件、介護支援専門員実務研修が1件となり目標値に達しませんでした。引き続き事業の周知を行います。